

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：11回

(2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会、CPD 委員会の2委員会で構成されている。RCCM 資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD 委員会にはCPD 推進専門委員会とCPD 監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM 資格制度委員会

RCCM 試験検討WG、講習会WG、技術者資格WGを中心に活動を行った。

RCCM 更新登録に必要なCPD 単位数の移行は、コロナ禍によるCPD 取得機会への影響を勘案し、令和2年度からの施行を見送り、令和3年度以降150単位/4年、令和7年度以降に200単位/4年としている。(令和2年度施行)

① RCCM 試験検討WG：コロナ禍により令和2年度のRCCM 試験は中止せざるを得なかった。令和3年度は、準備を整えCBT方式に変更して、ペーパーレスで実施した。

② 講習会WG：更新講習会は、令和2年度に全てWeb形式に移行した。令和3年度は2コンテンツを追加し、継続分と併せ13コンテンツとした。技術分野について、文部科学省卓越研究候補者選考の研究分野を参考に一覧列挙し、その全てをカバーすることとして、新たな講師による8コンテンツの追加準備を整えた。

③ 技術者資格WG：令和3年度は、点検・診断等業務、計画・調査・設計業務とも登録更新・新規登録の対象事案はなかった。

④ 自主学習システム専門委員会

RCCM 登録更新に使用する令和3年度の自主学習教材について、原稿の審査、作成版のチェックを行った。部分的な改訂を行い、法

制度、技術基準、維持・管理等の学習内容を充実させた。

b) CPD 委員会

協会会員のCPD 取得支援、CPD 監査の実施と結果の分析、CPD ガイドラインの改定・CPD 形態の追加を中心に活動を行った。

① 協会会員のCPD 取得支援

コロナ禍の影響により、CPD 取得が困難な状況が続いたが、セミナー配信に関するアンケートの実施、「録画配信の手順」の作成・配信、動画配信システムの機能追加を行い、協会HPにセミナー動画をより多く配信することにより、CPD 取得機会を増加させた。

動画配信は、会員企業のニーズ、テーマの妥当性等を勘案して、58.1時間のCPD 対象となる19セミナーの視聴を可能にした。

② CPD 監査の実施と結果の分析

令和2年度のCPD 記録登録者の1%相当の200名を対象として監査を実施した。教育形態別記録は、講習会等への参加が前年度より減少したものの25%と最も多かった。業務経験が増加し24%となった。社内表彰申請の増加が要因と考えられる。自己学習21%、企業内研修21%は昨年と大きな変化はなかった。

CPD 登録システムの改善や会員のCPD 記録登録の習熟により記録の不備は減少しており、CPD 記録登録は概ね適正に運用されていることが確認された。

③ CPD ガイドラインの改定・CPD 形態の追加

教育分野分類の多様化に伴う利用者のCPD 登録の適正化、Web 講習への対応を図るため、CPD ガイドラインの改定を行った。また、CPD 形態の「技術資格の取得」対象について検討を行い、対象資格を追加した。

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1～8-6-6に示す。

(資格・CPD部会部会長 花岡 憲男)